

かきつばたまつり

史跡八橋

令和6年
4月25日【木曜日】
5月17日【金曜日】





ちりゅうし
知立市観光協会
愛知県知立市広見三丁目1番地
https://www.chiryu-kanko.com



詳細はこちら →

八橋かきつばた園のご案内

八橋は、平安時代に在原業平が歌に詠んだと言われる、古くから広く知られる「かきつばた」の名勝地です。当園には大小16の池があり、最盛期には紫の絨毯のように咲き誇るかきつばたを見ながら散策を楽しめます。



市指定文化財
芭蕉連句碑
「かきつばた 我に発句のおもひあり 芭蕉」
「麦穂なみよる 潤ひの里 知足」
貞享2年(1685)鳴海の下里知足の家で詠まれた歌だと言われています。

市指定文化財
八橋古碑
岡崎藩の儒者秋本舘夷の撰文により業平の故事を刻んだものです。寛保2年(1742)建立。

市指定文化財
宝篋印塔(杜若姫供養塔)
業平の東下りの際、恋い慕って八橋まで辿り着いた「杜若姫」が、業平に逢えず悲しんで身を投げたと伝えられています。

歌碑・業平像
「伊勢物語の主人公と言われる、在原業平。が「東下り」の途中、八橋のかきつばたの美しさに惹かれ詠んだ歌です。句頭に「かきつばた」の5文字を入れ、旅のわびささと別れた恋人への想いを綴っています。

からころも
きつつなれにし
はるばるきぬる
たびをしぞおもふ
つましあれば

1 無量壽寺
慶雲元年(704)創立。その後、文化年間に方巖売茶翁により再興され、かきつばたの庭園も売茶翁によって整備されました。



2 八橋史跡保存館
八橋かきつばたの歴史や文化にまつわる数十点の文化財が保存されています。

茶室 燕子庵 (えんしあん)
● 茶会 4/27~5/12 10時~15時



尾形光琳作 「燕子花図屏風」(複製)
尾形光琳作 「八橋蒔絵螺鈿硯箱」(複製)
長線 (再現品)

● 燕子花図屏風・長線・八橋蒔絵螺鈿硯箱展示会 (時間) 午前9時~午後5時



在原業平ゆかりの史跡案内



三河八橋
落田中の一松 (かきつばた公園)
八橋伝説地
業平供養のための宝篋印塔があります。
鎌倉街道
この地域では、中世の東海道を近世の東海道と区別するために鎌倉街道と称しました。
在原寺
この地域を守る人のお堂として創建されたと伝わります。

令和6年度 史跡八橋かきつばたまつり行事予定

明清楽演奏
(日時) 4月28日(日) 午前10時30分~午後1時30分~

在原業平毎歳忌
(日時) 4月29日(月・祝) 午前11時~

花と盆栽即売会
(日時) 4月28日(日)~5月14日(火)

大正琴演奏会
(日時) 5月3日(金・祝) 午前11時開演

俳句大会
(日時) 5月5日(日・祝) 午前9時30分無量壽寺 受付、午後1時~句会

ちりゅうび出演
(日時) 5月5日(日・祝) 午前11時~、午後1時~(各回30分)

八橋かきつばた盆栽展示会
(日時) 5月6日(日)~8日(水)

短歌大会
(日時) 5月12日(日) 午前10時30分~午後3時30分
(会場) 知立文化広場

日吉山王社大祭
(日時) 5月12日(日)

茶会
(日時) 4月27日(土)~5月12日(日)
(時間) 午前10時~午後3時
(会場) 茶室「燕子庵」

開催期間中
燕子花図屏風・長線・八橋蒔絵螺鈿硯箱展示会
(時間) 午前9時~午後5時
(会場) 八橋史跡保存館

夜間照明
(時間) 毎日 日没~午後9時まで
(会場) 八橋かきつばた園

令和6年度知立市フォトコンテスト(かきつばたまつり)
(会場) 八橋かきつばた園

かきつばた、花しょうぶまつり共通行事
知立de巡る!お土産品&グルメスタンプラリー
(日時) 4月25日(木)~6月9日(日)
(会場) 市内協力店舗等



交通規制・駐車場有料
4月27日(土)、28日(日)、29日(月・祝)、5月3日(金・祝)、4日(土・祝)、5日(日・祝)、6日(休)
● 普通自動車: 300円
● 大型自動車: 1,500円

電車
名鉄「三河八橋駅」下車 徒歩約8分

車
● 伊勢湾岸自動車道「豊田南IC」より約5分
● 伊勢湾岸自動車道「豊明IC」(国道1号線経由)より約15分

ミニバス
名鉄知立駅よりパープルコース「八橋かきつばた園」下車
● 1乗車: 100円

駐車場
310台(上記交通規制日以外は無料)

会場
八橋かきつばた園(知立市八橋町寺内61-1)

問い合わせ
● 知立市観光協会 (Tel: 0566-83-1111)
※土・日・祝休
● 知立市観光交流センター (Tel: 0566-55-6302)
※火・水休(祝日は開館)

・お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
・知立市駅前駐車場にレンタサイクルがあります。

元祖あまき手焼きのおいしさ

小松屋本家
明治22年頃、当家の先祖が皮にあんを入れてみたことが、あんまき(黒あん・白あん)の始まり。
電話番号: 0566-81-0239 1本 200円

仲 両口屋本舗
電話番号: 0566-81-0450
営業時間: 9:30~17:30
定休日: 火曜日・第3月曜日
(夏期は第1・第5月曜日も定休)

みゆき寿司
電話番号: 0566-81-1911
定休日: 水曜日、第2・3木曜日



「かきつばた」の一言が聞きたくて
真心米で
精米しています

非接触受取り可能
ピックアップロッカー設置

まつりのアンケートはこちら!
皆様のご感想・ご意見をお聞かせください。お手持ちのスマートフォン等で、右の二次元コードを読み取っていただきご回答ください。

